

ママになるあなたへ・・・

妊娠おめでとうございます。
このリーフレットでは、もうすぐママになるあなたの健康と赤ちゃんの健やかな成長のために知っておきたい妊娠中の食生活と体重管理に関する情報を掲載しています。

妊娠期・授乳期は、赤ちゃんの健康にとって大切な時期です。妊娠前や妊娠中のママの栄養状態は、おなかの中の赤ちゃんの栄養状態と深い関係があります。最近の研究では、赤ちゃんがおなかの中で栄養状態に慣れてしまうと、栄養を蓄えやすい体質となり、その結果、将来肥満や糖尿病などの生活習慣病を発生する可能性が高まるといわれています。

私どもは玉川病院の先生方のご協力のもと、皆さんが健康なお産を迎えることができるよう、調査・研究を実施しております。また今後より多くの妊婦さんに利用していただくための教育教材の開発も目指しております。

この資料では、妊娠に伴う食生活と体重管理について、多くの妊婦さんに思うことについてお答えしていますが、調査・研究にご参加いただく、栄養士による個別指導や日々の食事についての振り返りも行います。これから生まれる赤ちゃんの将来の健康を考えながら、一緒に妊娠中の食について考えてみませんか？

出席は女性にとって大仕事です。予定日が近くなるにつれて、食生活についての悩みや不安も多くなるかもしれません。この調査・研究を通して、少しでもそれが解消されるよう、私たちが応援します。

研究代表者：
産科先生 田中 裕子
産科先生 佐藤 美穂
産科先生 佐藤 美穂



望ましい体重増加量を知っていますか？

体重の増え方は個体差ですか？望ましい体重増加量は、妊娠前の体格によって異なります。体重増加量が多すぎても、少なすぎても、お母さんと赤ちゃんの健康を害するリスクが高くなるので、以下の表を参考に、望ましい体重増加量を目指しましょう。

Step 1: 妊娠前の体格(BMI)を調べてみましょう。
*BMI(Body Mass Index)とは、国際標準に用いられる指標でBMI22を標準としています。

BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) × 身長(m)

*例えば、身長160cmで非妊時体重が50kgの場合、
50(kg) ÷ 1.6(m) × 1.6(m) = 19.5 になります。

低体重(やせ)	ふつう	肥満
BMI18.5未満	18.5以上25.0未満	BMI25.0以上

Step 2: 妊娠全期間を通しての体重増加量を知りましょう。

非妊時の体格区分	推奨体重増加量
低体重(やせ)	9~12kg
ふつう	7~11kg
肥満	5kg以下が*

*体格区分は非妊時の体格による。
*1 体格区分がふつうの場合で、BMIが基礎体重(やせ)に該当する場合は、推奨体重増加量の上限値に近い範囲を、「肥満」に該当する場合は下限値に近い範囲を推奨します。
*2 BMI25.0を今や超える程度の場合は、2.2kgを基礎体重と見なし、若く低体重の場合は、医師などに個別にご相談ください。

食・栄養に関するより詳しい情報は

- ① 『妊産婦のための食生活指針』に関する情報はこちらから
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/02/10201-3a.html>
- ② 食品に含まれる栄養素の成分値を調べたい方はこちらから
<http://food.tokyo.jst.go.jp/>

レッツ・エンジョイ !!
マタニティ・ライフ

～賢く食べて、妊婦生活を楽しくもう～



発行者 独立行政法人国立健康・栄養研究所

参考資料 『妊産婦のための食生活指針』(厚生労働省, 2006年)

※この「マタニティマーク」は、厚生労働省が推進する「妊産婦にやさしい職場づくり」事業において妊産婦の方々が適切な理解を得られるように作成されたマークであり、全国の実業機関や職場、飲食店などに掲出されています。

1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいか一目で分かる！
妊産婦のための食事バランスガイド

「食事バランスガイド」とは、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいか一目でわかり活用できるように、厚生労働省と農林水産省により作成された食生活支援ガイドです。ここでは、妊娠期・授乳期に適した「主食」「副菜」「主菜」「牛乳・乳製品」「果物」の5つの料理グループの摂取目安量と組み合わせ例が示されています。

日々の生活で無理のない程度に体を動かしてみましょう。ただし、事前に必ず主治医に相談しましょう。

特に授乳期は、普段よりも多めに水分を補給しましょう。

野菜や嗜好飲料は食事に楽しみを与えるけれど、他の料理グループとのバランスを考えて食べましょう。

各食品グループの1日にとる目安量と各妊娠期間における付加量はここを確認してください。

それぞれの料理グループの料理例と食べ方はここを参考にしてください。

1日分付加量

	非妊前	妊娠初期	妊娠中期	妊娠末期・授乳期
主食 5~7 g(6%)	—	—	—	+1
副菜 5~6 g(6%)	—	—	+1	+1
主菜 3~5 g(3%)	—	—	+1	+1
牛乳・乳製品 2 g(2%)	—	—	—	+1
果物 2 g(2%)	—	—	+1	+1

※gはグラム、%はエネルギーの割合

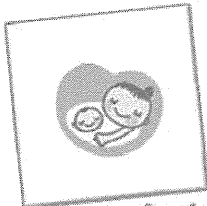
ご飯はたくさん食べてもいいの？
ご飯やパンなどの「主食」はエネルギーのもと。また、油断を多く使うおかずと比べてそのまますくすくす主食は低脂肪食品です。主食をしっかりとり、おかずを適量にすることで、食事のバランスがとれやすくなります。

野菜はたくさん食べなきゃダメ？
緑黄色野菜には「葉酸」が多く含まれています。妊娠初期の女性や妊娠を計画している人は普段よりも意識して野菜をたっぷり食べましょう。また、野菜には不足しがちな鉄やカルシウムなどのミネラルもたくさん含まれています。

魚は食べても大丈夫？
魚や肉、卵、大豆料理などの「主菜」は体づくりの基礎となります。ビタミンAを多く含むレバーやマグロやキンメダイなど一部の魚を大量に食べると胎児の成長に障害をきたす恐れもありますが、多量種の肉や魚を組み合わせることで安心して食べられます。

アレルギーが心配。牛乳は控えたほうがいい？
食物アレルギーを引き起こす原因となる主な食品のひとつに乳製品があります。しかし、母親や他の家族にアレルギー症状があるからといって、妊娠中や授乳中に母親が特定の食物を除去しても、子どものアレルギー疾患の発症リスクを抑制することはできません。自己判断での食物除去は、健康を害する恐れもあるので、必ず専門家に相談しましょう。

対象者に配布したリーフレット (上:表、下:裏)



栄養教育を受けられる方へ

〈予約日時〉 月 日 (曜日) : ~

あなたの食生活を栄養士さんと一緒にチェックしてみましょう

妊娠期は、赤ちゃんの健康にとって、とても大切な時期です。妊娠前や妊娠中のママの栄養状態は、おなかの中の赤ちゃんの栄養状態と深い関係があります。

妊娠中の食生活について、栄養士さんから個別の食生活指導が受けられます。

普段の食事バランスよく栄養がとれているか、どのくらいのカロリーをとっているか、などをチェックできます。料金は無料、時間は30分程度です。

〈栄養教育の準備〉

- ① プレママ・ママのフードダイアリーに3日分のお食事を記入してください。そのうち1日については材料も具体的に書いてください。

2日分…料理名を記入して下さい。

月	日
1日の食事を書き出してみましょう。 お茶やジュースなども忘れずに。	
朝食 トースト、野菜サラダ、目玉焼き、牛乳、ぶどう	
昼食 ごぼうば、さつまいもおからの粉の物、天ぷら、お茶	
夕食 ごはん、味噌汁、さんざらごぼう、ほうれん草のおひたし、焼き魚、お茶	
間食 ヨーグルト、紙、オレンジジュース	

1日分…料理名と目安量を記入して下さい。

※目安量は、下記を参考に、おおよその量がわかるように記入して下さい。

月	日
1日の食事を書き出してみましょう。 お茶やジュースなども忘れずに。	
朝食 トースト(五穀粉 1枚)、野菜サラダ(レタス 1枚、さつまいも 1/2個、トマト 1/2個)、目玉焼き(卵 1個)、牛乳(150ml)、ぶどう(適量)	
昼食 ごぼうば(お合 1/2人分)、さつまいもおからの粉の物(小粒 1粒)、天ぷら(おから 1/2個、かぼちゃ 1/2個)、さつまいも(1/2個)、蒸茶(茶碗 1杯)	
夕食 ごはん(小粒 1杯)、味噌汁(お合 1/2人分)、さんざらごぼう(小粒 1粒)、ほうれん草のおひたし(小粒 1粒)、焼き魚(お合 1/2人分)、お茶(茶碗 1杯)、お茶(茶碗 1杯)	
間食 ヨーグルト(100g)、紙(1枚)、オレンジジュース(100ml)	

- ② フードダイアリーには妊娠中・授乳中の食生活について、参考になることがたくさん書いてあります。良かったら目を通して見てください。

〈栄養教育当日〉

- ③ フードダイアリーと母子手帳を持って、直接産婦人科外来の窓口にお越しください。(診察券の受付は必要ありません)
- ④ 栄養士さんがお食事をチェックします。

〈栄養教育後〉

- ⑤ 外来受診の際に結果をお渡しします。(栄養教育の次またはその次の外来になります)
- ⑥ 結果についてのご質問やもう一度栄養教育を受けたいといったご希望があれば、同じ曜日の栄養教育を予約できます。外来で申し出てください。

3日分の食事記録の記入例

1日分…料理名と目安量を記入して下さい。

月 日 ※目安量は、下記を参考に、おおよその量がわかるように記入して下さい。

1日の食事を書き出してみよう。 お茶やジュースなども忘れずに。	
朝食	トースト (6枚切、1枚)、野菜サラダ (レタス1枚、さやうり1/4本、トマト大、1/4個)、目玉焼き (卵1個)、牛乳 (200ml)、ぶどう (半房)
昼食	ざるそば (外食:1人前)、さやうりとわかめの酢の物 (小鉢1杯)、天ぷら (えび1尾、いか1切れ、さつま芋1切れ、ししとう1本)、麦茶 (茶碗1杯)
夕食	ごはん (小1杯)、味噌汁 (大根、人参、しいたけ、ねぎ)、さんびらごぼう (小鉢1杯)、ほうれん草のおひたし (小鉢1杯)、焼き魚 (鮭1切れ、大根おろし、大さじ1杯)、煎茶 (茶碗1杯)
間食	ヨーグルト (ミニカップ、1個)、桃 (1個)、オレンジジュース (100%、200ml)

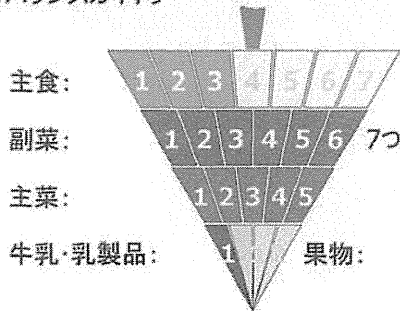
2日分…料理名を記入して下さい。

月 日

1日の食事を書き出してみよう。 お茶やジュースなども忘れずに。	
朝食	トースト、野菜サラダ、目玉焼き、牛乳、ぶどう
昼食	ざるそば、さやうりとわかめの酢の物、天ぷら、お茶
夕食	ごはん、味噌汁、さんびらごぼう、ほうれん草のおひたし、焼き魚、お茶
間食	ヨーグルト、桃、オレンジジュース

] メニューコード:[105]

〔食事バランスガイド〕



〔料理区分別SV〕

料理区分	SV	全SV
主食	2.55	2.67
副菜	7.10	7.39
主菜	4.70	5.26
牛乳・乳製品	0.84	0.84
果物	—	1.12

SV:料理区分の分類条件を満たすSV数
全SV:サービング基準に基づき算出した全SV数

※料理で、主材料解除をした場合は、指定された食品だけでSV計算がなされます

〔栄養価〕

栄養素	含有量	栄養素	含有量	栄養素	含有量
エネルギー kcal	1999	リン mg	970	ナイアシン mg	15.7
水分 g	1253.3	鉄 mg	8.1	ビタミンB6 mg	1.18
たんぱく質 g	62.8	亜鉛 mg	7.0	ビタミンB12 µg	3.2
うち動物性 g	36.8	銅 mg	0.84	葉酸 µg	296
脂質 g	97.0			パントテン酸 mg	7.62
うち畜産物 g	43.9	レチノール µg	128	ビタミンC mg	112
うち魚介類 g	1.1	βカロテン当量 µg	7642	飽和脂肪酸 g	26.44
炭水化物 g	217.5	ビタミンA µg	824	一価不飽和脂肪酸 g	41.85
灰分 g	24.5	ビタミンD µg	4.5	多価不飽和脂肪酸 g	19.94
ナトリウム mg	5180	ビタミンE mg	12.4	コレステロール mg	449
カリウム mg	3919	ビタミンK µg	168	食物繊維 g	21.9
カルシウム mg	669	ビタミンB1 mg	1.64	食塩相当量 g	13.2
マグネシウム m	314	ビタミンB2 mg	1.77	アルコール g	0.5

〔料理の組合せ〕

コード	料理名	単位
10501	トースト	1.00
10502	ごぼうサラダ	1.00
10503	野菜入り玉子焼き	1.00
10504	ヨーグルト	1.00
10505	カフェオレ	1.00
10506	野菜ラーメン	1.00
10507	みかん	1.00
10508	白菜とぶた肉のトマト鍋	1.00
10509	酢豚	1.00
10510	かぼちゃの煮物、切干大根	1.00
10511	ジャガイモの千切りサラダ、昆布煮	1.00
10512	ごはん	1.00
10513	フロースンヨーグルト	1.00
10514	こんにゃくゼリー	1.00
10515	りんご	1.00

〔栄養比〕

たんぱく質	%	12.6
エネルギー比率		
動物性	%	58.6
たんぱく質比率		
脂肪	%	43.7
エネルギー比率		
炭水化物	%	43.7
エネルギー比率		
穀類	%	31.1
エネルギー比率		
アルコール	%	0.2
エネルギー比率		

コメント：この日の食事を食事バランスガイドのコマに当てはめると、副菜と主菜はしっかり食べることができましたが主食（ご飯、パン、麺）は半分程度にとどまり、果物は食べなかったで色が付けられませんでした。卵焼きを作るときにミックスベジタブルを加えて野菜をとるようにしたり、宅食で食事を整えるなど、食事作りを気をつけている様子が伺えます。宅食の他に自分で作る場合、メニューによっては、主菜が複数になって食べ過ぎになることもありますので、献立をよく見て、足りないコマのものを補うようにしましょう。例えば、トマト鍋と酢豚は主菜であるお肉が重なりますので、量を控えるといった工夫ができます。飲むヨーグルトは糖分を多く含んでいますので、毎日必ず飲むのではなくて、牛乳や、プレーンのヨーグルト（甘味として果物をプラスしても）を取り入れると良いでしょう。溶いて飲むタイプのカフェオレも、一日一杯までにし、さらに牛乳を足して飲んでも良いでしょう。飲み物はシンプルにお茶なども取り入れてください。**【独楽回師】**
ふかしイモやスティック野菜、根菜やキノコ類を煮込んだスープなどを朝食や間食に用意すると、腹持ちもよく、甘い間食が減らせそうです。

別紙1. 転院先医療機関への照会状

当院では、国立健康・栄養研究所と共同で、妊婦への食生活指導介入研究を行っております。貴院に紹介させていただいた患者様は研究対象者となっております。

お忙しいところ大変恐縮いたしますが、分娩および1か月健診時のデータを以下に記入し、ご返送いただきますよう、お願い申し上げます。

研究 ID _____ 患者氏名 _____

青字の部分はあてはまるものに○をつけてください

分娩データ

分娩方法：正常経膣 or 吸引・鉗子 or 帝王切開(予定・緊急)

(帝王切開の場合、その理由 _____)

週数： _____ 週 _____ 日 _____ 性別：男児 or 女児

出生体重： _____ g 身長： _____ cm

Apgar Score: _____ 分娩時出血量： _____ g

分娩時母体体重： _____ kg

(分娩時が不明な場合、最後の妊婦健診 _____ kg)

分娩時合併症： なし or あり

(_____)

児の奇形： なし or あり

(_____)

1か月健診

母の体重： _____ kg

児への栄養：完母 or 混合 or ミルク

児の体重： _____ g 身長： _____ cm

児の病気：なし or あり (_____)

ご協力よろしくお願い申し上げます

日産厚生会 玉川病院 産婦人科部長 金子 均
国立健康・栄養研究所 栄養教育研究部長 瀧本 秀美

別紙2. 転院した妊婦自身へのアンケート

「妊婦さまへの食生活指導に関する研究」へのご参加、誠にありがとうございました。

出産データの収集にご協力いただけますようお願い申し上げます。母子手帳を参考に以下にご記入し、返送いただけますと幸いです。

日産厚生会 玉川病院 産婦人科部長 金子 均
国立健康・栄養研究所 栄養教育研究部長 瀧本秀美

研究 ID _____ 氏名 _____ さま

青字の部分はあてはまるものに○をつけてください

出産時データ

出産方法：経膣分娩 or 帝王切開分娩

出産日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 性別：男児 or 女児

赤ちゃんの出生時体重： _____ g 身長： _____ cm

出産時の妊婦さまの体重： _____ kg

(出産時が不明な場合、最後の妊婦健診 _____ kg)

出産時に何か問題がありましたか？

なし or あり (_____)

赤ちゃんに何か問題はありましたか？

なし or あり (_____)

1か月健診

お母様の体重： _____ kg

栄養：完全母乳 or 母乳とミルクを混合 or ミルクのみ

赤ちゃんの体重： _____ g 身長： _____ cm

1か月健診までに赤ちゃんにご病気はありましたか？

なし or あり (_____)

ご協力ありがとうございました

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hayashi M, Nakai A, Satoh S, Matsuda M	Adverse obstetric and perinatal outcomes of singleton pregnancies may be related to maternal factors associated with infertility rather than the type of assisted reproductive technology procedure used	Fertil.Steril.	98	922-928	2012
Horikawa R	Endocrine disease: progress in diagnosis and treatment. Topics: I. Progress in diagnosis; 5. Gonad: clinical approach to disorder of sex development (DSD)	日本内科学会雑誌	101(4)	965-74	2012
Isojima T, Shimatsu A, Yokoya S, Chihara K, Tanaka T, Hizuka N, Teramoto A, Tatsumi KI, Tachibana K, Katsumata N, Horikawa R.	Standardized centile curves and reference intervals of serum insulin-like growth factor-I (IGF-I) levels in a normal Japanese population using the LMS method.	Endocr J.	59(9)	771-80	2012
Kato N ,Sauvaget C, Kato T.	Large summer Weight gain in relatively overweight preschool Japanese children.	Pediatr Int.	54(4)	510-5	2012
Kawai M, Kusuda S, Cho K, Horikawa R, Takizawa F, Ono M, Hattori T, Oshiro M.	Nationwide surveillance of circulatory collapse associated with levothyroxine administration in very-low-birthweight infants in Japan.	Pediatr Int.	54(2)	177-81	2012
Morikawa M, Cho K, Yamada T, Yamada T, Satoh S, Minakami H	Risk factors for eclampsia in Japan between 2005 and 2009.	Int.J.Gynecol. Obstet.	117	66-68	2012

Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Satoh S, Cho K, Minakami H	Prevalence of hyperglycemia during pregnancy to maternal age and pre-pregnancy body mass index in Japan, 2007-2009.	Int.J.Gynecol. Obstet.	118	198-201	2012
Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Satoh S, Cho K, Minakami H	Prospective risk of stillbirth: monochorionic diamniotic twins vs. dichorionic twins	J.Perinat.Med	40	245-249	2012
Noriko Kato, Hidemi Takimoto, Takashi Eto.	The regional difference in children's physical growth between Yaeyama Islands of Okinawa Prefecture and national survey in Japan.	Journal of the National Institute of Public Health.	61(5)	448-53	2012
Sachiko Inoue, Hiroo Naruse, Takashi Yorifuji, Takeshi Murakoshi, Hiroyuki Doi, Ichiro Kawachi.	Who is at risk of inadequate weight gain during pregnancy? Analysis by occupational status among 15,020 deliveries in a regional hospital in Japan	Maternal and Child Health Journal	(published online)		2012
Sato Y, Nakanishi T, Chiba T, Yokotani K, Ishinaga K, Takimoto H, Itoh H, Umegaki K	Prevalence of inappropriate dietary supplement use among pregnant women in Japan	Asia Pac J Clin Nutr	22(1)	83-89	2013
Shiozaki A, Matsuda M, Satoh S, Saito S	Comparision of risk factors for gestational hypertension and preeclampsia in Japanese singleton pregnancies	JOGR	(in press)		2012
Takashi Yorifuji, Hiroo Naruse, Saori Kashima, Takeshi Murakoshi, Tsuguhiko Kato, Sachiko Inoue, Hiroyuki Doi, Ichiro Kawachi.	Trends of Preterm Birth and Low Birth Weight in Japan: A One Hospital-Based Study.	BMC Pregnancy and Childbirth	12	162	2012
加藤則子, 横山徹爾	新しい乳幼児身体発育値 Q&A で学ぶお母さんと赤ちゃんの栄養	周産期医学	(42)増刊号	606-10	2012

加藤則子, 横山徹爾	次世代の健康づくりと環境整備— 出世時の体重の低下に関する要因 を中心に—特集 健康日本 21 (第2次)と社会環境の整備	保険の科学	54(10)	678-83	2012
加藤則子, 瀧本秀美, 横山徹爾	特別特集 平成 22 年乳幼児身体 発育調査結果について	小児保健研究	71(5)	671-80	2012
吉田穂波, 横山徹 爾, 加藤則子	出生時体重の低下は何が問題か 乳幼児身体発育調査からみる要因 と、効果的な保健指導の方法を探 る 特集 親子保健・母子保健の重 点課題	保健師ジャーナ ル	68(11)	942-55	2012
吉田穂波, 加藤則子	新生児栄養の変遷 Q&A で学ぶ お母さんと赤ちゃんの栄養	周産期医学	(42)増刊 号	606-10	2012
吉田穂波, 加藤則子	特集 乳幼児健診 Q&A I. 成長 発達 乳児健診で体重が増えすぎ といわれました. 大丈夫ですか.	小児科診療	75(11)	1813-6	2012
吉田穂波	東日本大震災における妊産婦およ び乳幼児救護の現状と提言	パス最前線	2	17-20	2012
山本晶子, 西垣五 月, 水野裕介, 宮下 健悟, 野田雅裕, 内 木康博, 堀川玲子	ビタミン D 欠乏症 12 例の検討	ホルモンと臨床	59	291-294	2012
瀧本秀美, 米澤純子, 島田真理恵, 加藤則 子, 横山徹爾	日本助産師会会員における妊婦 への食生活支援に関する調査「妊 産婦のための食生活指針」の活用 状況を中心に	日本公衆衛生 雑誌	60(1)	37-46	2013
島田由紀子, 堀川玲 子, 有阪治	胎生期性ホルモンの空間認知能 への影響を粘土の造形表現からみ た検討	ホルモンと臨床	58(特集 小児内 分泌学 の進歩 2010)	1107-111 0	2012
堀川玲子	小児思春期発症摂食障害の現状 と予後	最新医学	67(9)	2032-203 9	2012

学会発表

発表者氏名	論文タイトル名	発表学会名	開催地	開催年月
Miyashita K, Noda M, Mizuno Y, Nishigaki S, Yamamoto A, Naiki Y, Horikawa R.	Association of fetal IGF-I, leptin, and adiponectin with fetal and early postnatal growth in NCCHD cohort study.	52th ESPE meeting	Leipzig, Germany	Sep 20, 2012
瀧本秀美, 田尻下怜子, 久保田俊郎, 加藤則子, 横山徹爾	非肥満女性における妊娠中の適正体重増加量区分についての検討	第 64 回日本産科婦人学会術講演会	神戸	2012 年 4 月
田尻下怜子, 瀧本秀美, 佐田文宏, 仁平光彦, 下地祥隆, 金子均, 久保田俊郎	妊娠中の体重増加量と出生体重に関する検討	第 64 回日本産科婦人学会術講演会	神戸	2012 年 4 月
堀川玲子	エコチル調査と小児内分泌・代謝疾患	第 115 回日本小児科学会学術集会	福岡	2012 年 4 月
内木康博, 野田雅裕, 水野裕介, 西垣五月, 宮下健悟, 山本晶子, 荒田尚子, 堀川玲子	成育コホートによる母体と5歳児の代謝マーカーとの関連の検討	第 115 回日本小児科学会学術集会	福岡	2012 年 4 月
堀川玲子	SGA 性低身長症の成長ホルモン治療	第 85 回日本内分泌学会学術総会	名古屋	2012 年 4 月
宮下健悟, 山本晶子, 西垣五月, 水野裕介, 野田雅裕, 内木康博, 堀川玲子	血中 IGF-I と各種因子との関連	第 85 回日本内分泌学会学術総会	名古屋	2012 年 4 月
西垣五月, 野田雅裕, 水野裕介, 山本晶子, 宮下健悟, 内木康博, 荒田尚子, 堀川玲子	幼児期代謝指標と母体因子との関連	第 85 回日本内分泌学会学術総会	名古屋	2012 年 4 月
瀧本秀美, 加藤則子, 横山徹爾, 田尻下怜子, 久保田俊郎	肥満妊婦における適正体重増加量についての検討	第 36 回日本産科婦人科・栄養代謝研究会	鹿児島	2012 年 8 月
田尻下怜子, 瀧本秀美, 横山徹爾, 仁平光彦, 下地祥隆, 金子均, 久保田	28 週での適正体重増加量についての検討	第 36 回日本産科婦人科・栄養代謝研究会	鹿児島	2012 年 8 月

俊郎				
堀川玲子, 田中敏章, 横谷進, 清野佳紀, 小川憲久, 清見文明, Anne-Marie Kappelgaard	SGA 性低身長症に対する成長ホルモン投与におけるΔ身長 SDS とΔIGF-I SDS の相関	第 46 回日本小児内分泌学会	大阪	2012 年 9 月
堀川玲子, 水野裕介, 西垣五月, 宮下健悟, 山本晶子, 内木康博, 荒田尚子, 渡邊典芳, 伊藤裕司	健常児と低出生体重児における臍帯血および 1 歳児血中 IGF-I と成長	第 46 回日本小児内分泌学会	大阪	2012 年 9 月
西垣五月, 水野裕介, 山本晶子, 宮下健悟, 内木康博, 荒田尚子, 堀川玲子	周産期母体因子と出生児代謝指標の関連	第 46 回日本小児内分泌学会	大阪	2012 年 9 月
磯島豪, 島津章, 横谷進, 田中敏章, 立花克彦, 勝又規行, 堀川玲子	小児期から成人期を通して使用可能な Insulin-like growth factor-I(IGF-I)の基準値の設定	第 46 回日本小児内分泌学会	大阪	2012 年 9 月
内木康博, 宮下健悟, 山本晶子, 西垣五月, 水野裕介, 伊藤裕司, 中村知夫, 荒田尚子, 堀川玲子	妊娠時母体が甲状腺機能異常を指摘された児の 6 歳時の予後	第 46 回日本小児内分泌学会	大阪	2012 年 9 月
山本晶子, 西垣五月, 水野裕介, 宮下健悟, 内木康博, 堀川玲子	本邦妊婦のビタミン D 充足状況と胎児発育の前方視的検討	第 46 回日本小児内分泌学会	大阪	2012 年 9 月
衛藤隆, 近藤洋子, 松浦賢長, 倉橋俊至, 横井茂夫, 恒次欽也, 加藤則子, 川井尚, 竹島春乃, 堤ちはる, 高石昌弘, 平山宗宏, 横山徹爾	幼児の保護者の心身の健康と対児感情等に影響を及ぼす要因に関する検討	第 59 回日本小児保健協会学術集会	岡山	2012 年 9 月
加藤則子, 瀧本秀美, 横山徹爾	最近のわが国の乳幼児の身体発育状況について	第 71 回日本公衆衛生学会総会	山口	2012 年 10 月
三宅 吉博	妊娠中における母親の能動及び受動喫煙と出生時低体重:九州・沖縄母子保健研究	第 23 回日本疫学会学術総会	大阪	2013 年 1 月

